

学校番号	12	学校名	静岡県立袋井特別支援学校	校長名	岩附 祥子
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自ら光る子を育てる ～人間ならではの感性を働かせて豊かに生きる～

(2) 目指す学校像

- ア 安心して生活、学習できる学校 【安全・安心な学校】
- イ 自分の力を精いっぱい発揮できる学校 【子ども主体の学校】
- ウ 保護者、地域とともに歩む学校 【開かれた学校】

(3) 目標具現化の柱

- ア 学びを支える環境をつくる
- イ 学びを積み上げる授業をつくる
- ウ 学びを豊かにする心と体をつくる
- エ 学びを広げる関係をつくる

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）*「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 学びを支える環境をつくる				
1	安全性・機能性を踏まえた学習環境の実現	・物の廃棄と用途・使用頻度を考慮した物の配置換え	安全性と使いやすさの点から、廊下の整理が進んだ。	総務課 学部
2 ①	危機・安全への対応力の向上	・マニュアルの改訂と簡易マニュアルの作成・配付 ・職員初動訓練の実施	いつでもマニュアルを確認でき、初動がとれる。	危機管理課
2 ②	新型コロナウイルスへの対応の強化	・動画等による対策の周知 ・教職員の健康管理の啓発	感染防止策を遵守し校務にあたっている。	保健給食課
2 ③	安全な医療的ケアの実施	・全職員対象の研修の実施 ・学部会等を利用したケアの様子や緊急時の対応の共有 ・マニュアルの見直しと周知	・医療的ケアの基本的事項を理解している。（全職員） ・緊急時対応について保護者との共通理解が進んだ。	保健給食課
3	教職員の高い人権意識によるより良い学校風土の醸成	・全体人権研修 年1回 ・人権チェック 年3回	多様性を受容する姿勢をもって人と接している。	生徒指導課
4	年間指導計画の見直しと効果的な活用	・定期的な評価改善の実施 ・全学部統一した様式による作成と見直し	大切なこと、5つの視点、つながりを踏まえた計画を作成し指導を行っている。	教務課
5	I C T活用による校務の効率化	・印刷物デジタル化の推進 ・I C T活用研修会の実施 ・I C T活用に効果的な機器の購入と環境整備	I C Tの活用によって、授業準備・分掌業務等に費やす時間が短縮した。	図書情報課
6	学校課題を踏まえた短中長期的な予算計画の策定と予算執行	・目的に基づいた予算策定及び校内共通理解のための周知 ・課題解決のための時節を捉えた柔軟な予算執行	課題を見据えた予算計画を策定し、効果的な予算執行ができた。	事務部
7 ①	教育公務員としての高い倫理観の維持	・校長講話 年12回 ・スマイル研修 年3回	「信頼される教職員であり続ける」との意識を持ち、常に行動をしている。	管理職

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
7 ②	働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で使える時間確保のための業務の見直しと削減 ・個々の働き方への指導助言 	自分で使える時間を効率的に活用して、時間外勤務が前年と比べ減った。	管理職
イ 学びを積み上げる授業をつくる				
1	深い学びへと導く授業づくり	深い学びを観点とした単元等の事前検討と学習評価・授業評価等の事後検討の充実	深い学びを実現するため、何をどのように学ぶかを大切に授業展開している。	研修課
2	各教科等を合わせた指導の授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・理解を深める研修の実施 ・解決したい課題や問いを大切に単元の検討 	学校生活上の課題をとらえて単元を設定している。	研修課
3	国語・算数(数学)の継続した指導の充実	「目標・内容の一覧」基にした、実態-指導-評価の確立	「目標・内容の一覧」を基にした内容に取り組み、評価を次へとつなげている。	学部
4	自立活動への理解と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を活用した自立活動学習会の実施 ・他職種連携研修の実施 	6区分 27項目を基に実態一課題一支援を設定し、課題解決に取り組んでいる。	自立活動課
5	自己実現を図るための12年間のつながりのある指導の実施	・育みたい“人間ならではの感性”を共有した実践及び評価	“人間ならではの感性”を踏まえて目標設定し、指導をしている。	学部
6	OJT等を含めた研修体制の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・研修体制整備の検討 ・研修内容一覧の作成 ・OJTのしくみの導入 	研修で学んだことを子供の成長につなげることができている。	学部 研修課他
7	子供たちがICTを活用する機会の確保と活用への理解向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT (iPad) への効果的な学習アプリの導入 ・ICT活用実践例の伝達 	ICTを活用して、子供たちの学びを深めることができてきた。	図書情報課
ウ 学びを豊かにする心と体をつくる				
1	他の人との関わり、集団や社会との関わりに関する事等、道徳心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・高生徒会による呼びかけと全校取り組み週間の設置 ・道徳全体計画を基にした各学部の指導計画の作成 	自ら挨拶、ありがとう、笑顔を心がけ、子供たちにもその大切さを伝えている。	学部
2	健康・安全への意識・知識・行動力など、命を守る力の育成	学部の状況、発達段階に応じた、体づくり運動や性指導の実施 学部毎に計画立案	体力・清潔・感染症予防等への理解と行動を高めるよう指導を行っている。	体育課 保健給食課
3	自他を尊重する心情と互いに認め合う態度等、人権感覚の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「友達のよいところを見つけよう」週間 年2回 ・対話的な学びを意識した道徳授業の計画 	自身の意見を述べる、他者の意見を聞くなどの機会を確保している。	生徒指導課
4	表現方法の獲得と表現する喜びを味わう経験による表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実践データのストック ・美術作品校内展示の学部間交流 年3回 	表現の喜びを味わえるよう様々な素材、表現等に触れる機会を確保している。	文化芸術課
5	読書活動を通じた感情や情景を読み取る力、表現力、想像力等の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団によるお話会の実施 ・読書週間に合わせたお薦め本の紹介、親子読書の実施等 	お話を聞いたり、本を読んだりする機会の確保や働きかけをしている。	図書情報課
エ 学びを広げる関係をつくる				
1	地域で生きる土台をつくるための交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせシートの活用 ・事後評価の実施と今後の体制、支援の共有 	交流の意義への理解が高まり、打ち合わせや実施がスムーズになってきた。	支援連携課
2	関係機関との連携による個別案件への対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・役割の明確化と情報共有 ・主訴、課題の整理後、支援会議の実施 ・ICTを取り入れた新たな連携(会議)の在り方の構築 	関係機関双方向からのアプローチがみられ、スピーディな対応ができています。	支援連携課 進路指導課

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
3	個別の教育支援計画・個別の指導計画の効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・職員説明会 年度当初 ・中間評価の実施と保護報告（連絡ノート等の活用） 	P D C Aを回す時間的ゆとりが生まれ、関係者との共通理解が高まった。	教務課 学部
4	積極的な情報発信による外部機関、地域、保護者等とのつながりの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・主要行事等のHP即日掲載 ・HPで事業所情報を入手できる外部リンクの設置 	情報を受け取る側にたったタイムリーで分かりやすい発信ができています。	広報課 進路指導課
5	子供をど真ん中に置いた本校と袋井市の双方向からの支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な対応を可能とする連絡調整機能の簡素化 ・事前情報の交換、主訴の明確化 	本校から袋井市へ、袋井市から本校への支援のしくみが構築されてきた。	管理職 学部主事 支援連携課